

あいである REPORT

NUMBER
7

12月送付物

令和元年12月 513名に 実家便を発送いたしました!

実家便とは?



施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年に2回食品や生活用品を送る活動です。

施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設と退所者とのつながりを切らさぬよう、「実家便™」には施設職員からのメッセージと、社会全体で見守っていることを伝える実家便の詰め込みに協力してくれる財団の会員からのメッセージを同梱いたします。

VOICE① 支援を受けた子どもたちの声

あいであるさんのメッセージや、施設の先生からの手紙が実家便とともにとても楽しみで、メッセージカードや手紙に助けられたこともたくさんありました。施設を卒業してからも、今までもたくさんの方々に支えられて生きていることに感謝しています。来年には大事な国家試験を控えています。立派な看護師になって、施設や支えてもらったたくさんの方々に恩返しができるよう、まずは勉強を頑張ります。



「実家便」の話聞いたときは、とても「おどろぎ」ました。そして、お金をいただくような感じがして、もらっても良いのかなと不安にもなりました。

両親と関わったり、物をもらったりすることが無かったのですが、「実家便」が届くと手紙も一緒に入っていて、とても嬉しい気持ちと、あたたかい気持ちになりました。「実家便」を通して、施設を出てからも、施設の方々とつながっているんだと思って嬉しかったです!!

私が10歳で施設にお世話になったときは、日本語も文化も分らず字も書けませんでした。

小学校は5年生からの始まりで、それまで学校にちゃんと通ったこともなく、頼れる親、言葉を通じる人もいなくて、話し相手は弟で、それも限られた時間の中でした。それで、生活していくためには、何もかも努力するしかないと思い頑張ってきました。一生懸命支えてくれた方々にお礼をお伝えしたいです。施設に入れてくれた方、小学校の先生方、施設のお姉さんやお兄さん。皆さんのおかげで、少しずつですが、色々な経験をして強くなりました。これからも変わらず、関わることが支えになります。今まで、本当にありがとうございました。



VOICE② 施設職員の声

体調不良により働けず、生活困窮、情緒不安定になっている子と話をしている中で、「もう生きている意味がない」と言われ、こちらとしても近くに住んでいない分、すぐにかけることも出来ないが、実家便が届いた数日後「ありがたいよね。色々な人に支えられているんだね」という風な言葉も聞かれた。もちろんその日の気分によっても違ってくるであろうが「一人ではないということ」をこの実家便が届いたときに思ったことは事実であり、物的にも心的にも助かっているなあと感じた。



実家便を活用させていただくようになり、はや3年目を迎えました。この実家便を通じて、改めてアフターケアの重要性を痛感しております。二十歳に満たない子どもたちが、自分の力の限り精一杯頑張っているのは承知しておりますが、それでも傷つき歩き続けることができない子がいるのは、紛れもない現実です。私たち施設が十分に卒園児と関わるのが難しい中、この実家便のような形でアフターケアをサポートしていただけることは大変にありがたいことです。ここ数年、子どもたちとも連絡を取り合うことが増え、施設が子どもたちにとってもう一つの家(home)になれているのだとしたら、これほど嬉しいことはありません。子どもたちを共に支えていただけていることを感謝し、そして私たちの社会的使命を自覚し、万全とはいえ体制ではありますが、これからも学園を卒園した子どもたちへ、心をこめて支援していきたいと思っております。



VOICE③ 実際に実家便の発送作業に参加したボランティアの声



実家便の梱包作業にボランティアとして参加させて頂きました。梱包作業はあいであるが契約している物流倉庫で行われました。まず、無駄なく流れるような動きの中で食品が丁寧に詰め合わされていることに感動しました。また、実家便には、施設職員や協賛会社ボランティアからのメッセージカードも同封され、食料支援だけでなく、あなたを気にしている人がたくさんいるよ!というメッセージが込められているんだという気付きもあり、施設をでた子どもたちはその心を紡いで成長するのだと感じました。

発送作業の様子

宮田さん



お金の管理に関するレクチャー 「マネークリップ」を行っています。

マネークリップとは？



あいであるオリジナルのレクチャーカードを使って、お金の使い方ややりくりを体験をし、自活のシミュレーションを行うゲームです。

職員の皆様に体験していただき、施設内での子どもの自立に向けて、取り入れていただいています。

「お金を使うこと」だけでなく、
「お金を使うことによって得られる社会経験」を
疑似的に体験してもらうことも目的としています。



先日、大分にて行われたレクチャーの様子

VOICE④ レクチャーを受けた施設職員の声

誘いの断り方
戸締りや鍵の大切さ
困ったときに相談できる場所、
人について知ることが出来る！

お金は大事だが、
それ以上に大事な物
人間関係、価値観、マナー
についても学べる！

マネークリップ
カード



実際に現実でもありうるトラブル、行事、買い物、貯金、積み立て、自己投資、遊びといった内容のカードを使用することでよりリアルに近い状況や雰囲気、退所後の生活や金の使い方、社会でのマナー立ち振る舞いをイメージできると感じた。実際に退所児童の意見やトラブルの内容のあるカードを取り入れることでより具体的に教えることが出来る。

冠婚葬祭や予定外の出費など、施設退所後に想定される出来事をゲームの中で知ることができるのはとても良いと感じた。また、「金銭管理」と言われると、「欲しいけど我慢する」「節約する」ということをイメージしていた。しかしそれだけではなく、「良いお金の使い方だね!」と声かけすることで、「お金を使う」という意味も一緒に学んでいくことが大切なのだと分かった。

ご寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しております。

当財団の活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。

(<http://idealideal.org/donation/>)

2020年
4月1日より

実家便及びマネークリップレクチャーの 新規募集を開始いたします！

※詳しくは2020年4月1日以降の当公益財団法人のホームページ(<http://idealideal.org/>)にてご確認ください。

財団法人あいであるの実家便™支援

実家便



公益財団法人

あいである

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル12F